

テーマNo.1	平均値にだまされるな!? — 統計学の基礎 —
内 容	<p>定期試験が終わって答案が返却される時、よく「今回の平均値は〇〇点」とテストのクラス平均が発表されることがあります。みなさんも自分の得点が平均値より高かったかあるいは低かったかで一喜一憂することがあるでしょう。でも、平均値はそんなに万能なのでしょうか。たとえば、4人のクラスが3つあり、それぞれの生徒の点数が次の通りだったとします。</p> <p style="margin-left: 40px;">A組：50点、50点、50点、100点 B組：50点、65点、65点、70点 C組：0点、80点、80点、90点</p> <p>ここで、それぞれのクラスの平均点を求めると、いずれも62.5点です。この平均値は本当にクラスを代表する点数なのでしょうか？特にA組では100点、C組では0点という極端な生徒がいます。A組では100点の生徒によって平均点が上がっていて、C組では0点の生徒によって平均点が下がっています。そのためA組やC組の場合、平均値はその組の代表的な点数を表しているようには見えません。</p> <p>このように、よく使われる平均値にも落とし穴があるのです。そこでこの講座では、平均値や偏差値など身近な話題から統計学の基礎を学び、社会科学を勉強するための橋渡しをしていきたいと思います。</p>
テーマNo.2	若者よ、旅に出よ。
内 容	<p>高校生活と大学生活で大きく違うことの一つに、休み（夏期休暇、春期休暇）の長さがあります。では休みの間に何をするのが良いのでしょうか。ポケっと過ごしては勿体ない！アルバイトに精を出すのも良いですが、一人旅（特に海外）に出てはいかがでしょうか。</p> <p>では何のために一人旅に出るのでしょうか。実は理由など何でもよいのです。見聞を広めたい、語学力を試したい、自分探しをしたいetc。理由は何であれ、一人旅をすると身につくことがあります。それは、自己解決能力や実行力が身につくことです。一人旅に出ると「どこに行くか」「どこに泊まるか」「何を食べるか」を全て自分で決めなくてはなりません。アクシデントも起きます。一人旅を終えたあなたは必ず成長しているはずです。</p> <p>人見知りで悩んでいるあなた。一人旅は自分を変えるチャンスかもしれません。私もかなり人見知りをしていた時期がありました。しかし、一人旅を続ける間に様々な人と出会い、仲良くなりました。そしていつの間にか自分が変わっていたのです。</p> <p>この講座では、旅というテーマを通して、大学生活そしてその後の人生を考えるきっかけを作りたいと考えています。</p>